

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 6 年 12 月 16 日(2024.12.16)

【公開番号】特開 2023-34920(P2023-34920A)
【公開日】令和 5 年 3 月 13 日(2023.3.13)
【年通号数】公開公報(特許)2023-047
【出願番号】特願 2021-141408(P2021-141408)
【国際特許分類】

H 0 4 N 23/745(2023.01)

H 0 4 N 23/60(2023.01)

G 0 3 B 17/18(2021.01)

G 0 3 B 7/091(2021.01)

【F I】

H 0 4 N 5/235700

H 0 4 N 5/232220

G 0 3 B 17/18 Z

G 0 3 B 7/091

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 12 月 6 日(2024.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像素子の出力信号を第 1 のサンプリング処理でサンプリングすることにより、光源のフリッカー周波数を検出する検出手段と、
前記撮像素子の出力信号を前記第 1 のサンプリング処理と異なる第 2 のサンプリング処理でサンプリングすることにより、前記検出手段により検出されたフリッカー周波数が検出対象範囲内であるか否かを判定する判定手段と、
前記検出手段により検出されたフリッカー周波数が前記第 1 のサンプリング処理による検出対象範囲外であると前記判定手段が判定した場合に、ユーザーに報知するように制御する制御手段と、

を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記第 1 のサンプリング処理では、第 1 のサンプリング周波数でサンプリングを行い、前記第 2 のサンプリング処理では、前記第 1 のサンプリング周波数よりも高周波である第 2 のサンプリング周波数でサンプリングを行うことを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置
。

【請求項 3】

前記第 2 のサンプリング周波数は、前記第 1 のサンプリング周波数に対応するナイキスト周波数に基づく値であることを特徴とする請求項 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記第 2 のサンプリング処理では、前記第 1 のサンプリング処理よりも簡易的なサンプリングを行うことを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記第 1 のサンプリング処理と前記第 2 のサンプリング処理では、前記撮像素子の垂直方

10

20

30

40

50

向のサンプリング数が異なることを特徴とする請求項 4 に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記第 1 のサンプリング処理よりも前記第 2 のサンプリング処理の方が前記撮像素子の垂直方向のサンプリング数が少ないことを特徴とする請求項 5 に記載の撮像装置。

【請求項 7】

前記第 1 のサンプリング処理よりも前記第 2 のサンプリング処理の方が前記撮像素子の垂直方向のサンプリング数が多いことを特徴とする請求項 5 に記載の撮像装置。

【請求項 8】

前記検出手段により検出されたフリッカー周波数が検出対象範囲内であると前記判定手段が判定した場合に、前記制御手段は、
フリッカーが検出された旨の情報をユーザーに報知することを特徴する請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の撮像装置。

10

【請求項 9】

前記検出手段により検出されたフリッカー周波数が検出対象範囲外であると前記判定手段が判定した場合に、前記制御手段は、手動によるシャッタースピードの設定をユーザーに促すことを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 10】

前記検出手段により検出されたフリッカー周波数が検出対象範囲外であると前記判定手段が判定した場合に、前記制御手段は、検出対象範囲外のフリッカー周波数であることをユーザーに報知することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

20

【請求項 11】

撮像素子の出力信号を第 1 のサンプリング処理でサンプリングすることにより、被写体光源のフリッカー周波数を検出する検出工程と、
前記撮像素子の出力信号を前記第 1 のサンプリング処理と異なる第 2 のサンプリング処理でサンプリングすることにより、前記検出工程で検出されたフリッカー周波数が検出対象範囲内であるか否かを判定する判定工程と、
前記検出手段により検出されたフリッカー周波数が前記第 1 のサンプリング処理による検出対象範囲外であると前記判定工程で判定した場合に、ユーザーに報知するように制御する制御工程と、

30

を有する

ことを特徴とするフリッカー検出方法。

【請求項 12】

請求項 11 に記載のフリッカー検出方法をコンピュータで実行させるためのコンピュータで読み取り可能なプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

40

上記目的を達成するために、撮像装置であって、撮像素子の出力信号を第 1 のサンプリング処理でサンプリングすることにより、光源のフリッカー周波数を検出する検出手段と、前記撮像素子の出力信号を前記第 1 のサンプリング処理と異なる第 2 のサンプリング処理でサンプリングすることにより、前記検出手段により検出されたフリッカー周波数が検出対象範囲内であるか否かを判定する判定手段と、前記検出手段により検出されたフリッカー周波数が前記第 1 のサンプリング処理による検出対象範囲外であると前記判定手段が判定した場合に、ユーザーに報知するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする。

50